



目黒小鹿野町歌舞伎訪問団 ロシア・ウラジオストク公演

初の海外公演 大成功!!

小鹿野歌舞伎ロシアで大盛況!!

写真提供: 山口清文さん(町広報大使)
高柳圭太さん(在ウラジオストク日本国総領事館領事)



ロシアの子供たちと、秩父屋台囃子や歌舞伎の所作などの文化を通じて、お互いの国の子供たちにとってとても貴重な交流ができました。

ウラジオストクも猛暑の影響で例年より暑く、また訪問団の荷物の一部が遅れるなどのトラブルもありましたが、無事に歌舞伎公演と交流会ができました。

訪問団は、7月30日に無事に帰町し、森町長に公演成功の報告を行いました。

7月28・29日にロシア・ウラジオストクの歴史あるフィルハーモニー劇場で、目黒小鹿野町歌舞伎訪問団による子供歌舞伎「口上」と「寿曾我対面工藤館之場」を公演しました。

ロシア語で行った「口上」は、一言一言述べる度に拍手があり、ロシアの皆さんにしっかり意味が伝わっていました。「寿曾我対面工藤館之場」は、4月から柴崎好一さんらの指導のもと、12回行われた稽古の成果やロシア語の字幕解説もあったことで、子供歌舞伎の熱演に引き込まれ、スタンディングオベーションが起こるほどの大きな反響がありました。終演後には、会場に訪れた観客の皆さんを子供役者が見送り、観客の皆さんも子供役者と記念撮影をするなど、日本を代表する訪問団としての役割をしっかりと果たしました。

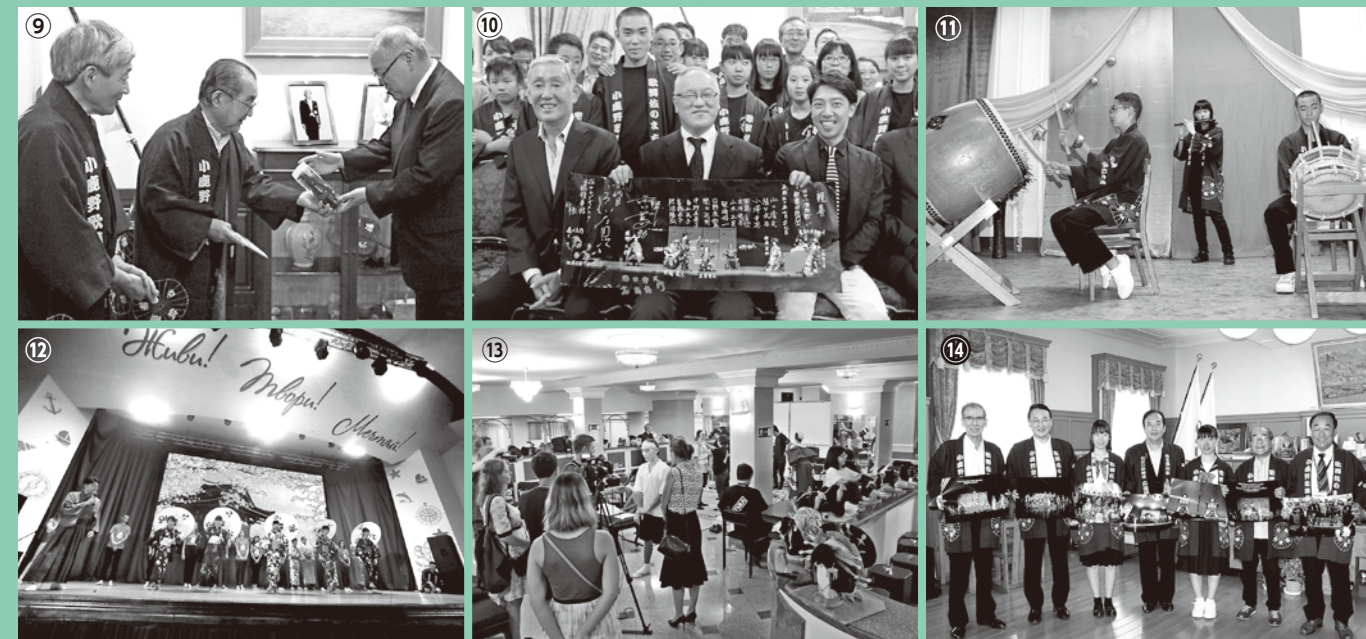
公演のほかにも、子供創作宮殿やオケアンセンターで

フォトショット 1



①「満場総立ち」拍手の中を ②カーテンコールに応えて ③舞台づくりの8人衆 ④フィルハーモニー劇場 ⑤女性4人衆、光留さんは常に参考書を手放さず ⑥小鹿野歌舞伎などの写真展と見送りの子供たち ⑦ロシア語の口上 ⑧舞台荷物は25個、この他個人のスーツケースが

フォトショット 2



⑨町からの記念品を山口団長から笠井総領事へ ⑩市川左團次さん(左)や轟之助さん(右)、笠井総領事(中央)と訪問団のサイン入り写真とともに ⑪子供創作宮殿にて ⑫オケアンセンターで轟之助さんの指導で五人男を ⑬楽屋で現地テレビ局の取材を受ける新井君 ⑭帰国の翌日、町長とともに上田県知事に報告

訪問団団長 山口 清文さん

チケットは2日間とも即完売。歌舞伎はウラジオストクの人たちの期待以上のものだったと感じました。正に弾丸旅行でした。成功の素はひとえに子供たちのヤングパワーです。連日連夜、今回の2つの柱「交流と公演」を楽しく生き活きと動き回っていました。これも森町長をはじめ職員、町民の皆様、そして堀口保存会長ら裏方陣、特別団員の支えのおかげです。大変感謝しています。

カーテンコールの挨拶で「この公演で子供たちが小鹿野歌舞伎の良き継承者になること、日ロの懸け橋の担い手を確信」に、一層の大きな拍手がありました。役者が客席へ降りると、「満場総立ち、拍手鳴り止まず」。私も子供たちにも終生忘れられない光景になりました。本当にありがとうございました。

黒澤 智美さん(中学3年)

最初役を聞いた時は自分に出来るのかなと思ったけど、何とかやり遂げられて良かったです。すごく充実していて楽しい4日間でした。

小林 奈々未さん(中学3年)

ロシアの方々に日本のことについて興味を持ってもらえたので、私もロシアだけでなく海外のことをたくさん知ってみたいです。

日野原 大麒くん(小学5年)

歌舞伎では、拍手が多くてうれしかった。食べ物が美味しいところもよかった。ロシアの子供もみんな優しくかったです。

田端 亮太くん(高校1年)

歴史のある舞台で小鹿野町の伝統である歌舞伎を披露できたことをうれしく思っています。やっていてすごく楽しかったです。

飯塚 若那さん(中学3年)

ロシアのお客さんがみんな(歌舞伎に)興味を持ってくれてうれしかったです。歌舞伎以外では、交流会などさまざまな体験ができてとても良かったです。

小林 紀心さん(小学5年)

ロシアの人たちは歌舞伎が終わるとすごい拍手をしてくれるのでうれしいなと思いました。

団長・役者の皆さんから 一言

新井 陸斗くん(中学3年)

1日目からトラブル尽くしで大丈夫かなと思っていましたが、(公演は)うまくいったので良かったです。

猪野 大我くん(中学3年)

大勢のお客さんに見てもらいながら歌舞伎を演じることができて、すごく楽しかったいい体験になりました。

中野 結太くん(中学2年)

現地の人と気持ちが繋がった感じがしてすごくうれしかった。二回とも大きな声でできたので良かったです。

飯塚 光留さん(高校2年)

ロシア語の口上が伝わるのになって不安でしたが、一個一個拍手をもらったのですごい安心したうれしかったです。